



名勝小金井桜の会 会報 ヤマザクラ

第15号
2018年7月

発行：事務局 岩間
Hp <http://koganeizakura.com>
〒184-0012
小金井市中町 1-8-16



第20回写真展金賞
「山鳩も山桜のお花見」
撮影：児島壽美滋

最近の活動状況 その1：

*平成30年度年次総会の開催（5月19日）

今年度の総会を開催し、29年度決算及び30年度の役員体制、活動計画、予算について審議しました。石田会長を名誉会長、小沼副会長を会長、副会長に杉山・日並・植竹、事務局長に岩間、事務局に本橋、など大幅な変更をしました。

名勝小金井桜復活を前進するため、これまで以上に管理者である東京都・地元自治体（小金井市・小平市・武蔵野市・西東京市）と私達が共通の目的を再確認し、郷土の大事な歴史的文化遺産である名勝小金井桜を次代に適切に継承していくコラボレーション（協働）事業として推進していきます。承認された総会議案書は、会のホームページの「名勝小金井桜の会とは」のページに掲載していますので、ご参照ください。

*小金井市担当者変更並びに市長に要望書を提出（5月29日）

小金井市生涯学習部の部長以下担当の異動があり当会の役員も一新したので挨拶に訪れて、小金井桜復活の確実な実施として、ヤマザクラ以外の後継樹の植替え・枯死木の植替えを文書で申し入れました。

*第20回名勝小金井桜写真展の開催（6月1～3日）

緑センターまつりの展示部門で恒例の写真展を行いました。応募作品は65点、写真家鏗山英次先生の審査をお願いし展示作品20点と受賞作品4点を選びました。また展示期間中に会場で行った人気投票1位の作品が選ばれました。



6月16日当会の定例会に先立って写真展の受賞者（金賞1名、銀賞3名、人気投票1位1名 合計5名）を招いて賞状・記念品の授与式を行いました。この写真展を契機として市民の方々の名勝小金井桜に対する理解と関心を一層高めていただく事を願っています。

裏面に続く

最近の活動状況 その2

*さくらんぼ拾い（6月2日）

有志6名が接ぎ木用台木となるヤマザクラのさくらんぼを、小金井公園内のヤマザクラ並木の基で拾いました。一部は個人で来年春の種蒔きまで、残り大半は杉山技術顧問が土中に保管することになりました。



*6月度例会学習会（6月16日）椎名先生の講演

小金井市の「玉川上水小金井桜整備活用推進委員会委員、ほか多くの緑化委員である椎名豊勝先生を招いて「小金井桜復活に向けて行政機関との連携について」と題して講演をいただきました。

参加者一同、課題の解説を十分に理解できて大変有効でした。



*30・31年度植樹計画の現地調査（6月22日）

東京都水道局、教育庁、水道サービス、小金井市の各担当者、桜の会有志、全16名が参加して、小金井橋～新小金井橋の29・30・31年度の補植計画（29年度は実施済み）の現地確認をしました。3年間で左岸43本・右岸18本、計61本（その内29年度は15本）の植樹ポイントと周りの雑木伐採範囲を確認しました。今後の検討で30年度の具体的な植樹ポイントを決定します。



*さくら基金の状況（6月30日まで）

基金・イベント募金の累計額 306 □ 2,997,671 円
前回の報告値（30年3月） 302 □ 2,962,671 円 増加額=35,000 円

<参考>30年3月末の「さくら基金」会計決算結果；

収入累計；2,962,671 円、支出累計；2,474,988 円（育苗ファーム移設費、苗木堀上費、パソコン印刷費、他）
残高；487,683 円 厳しい財務状況にあることに鑑み、引き続き皆様の暖かいご支援を期待しています。

さくら基金納入の振込 ・振込先；多摩信用金庫小金井支店 ・預金種目；普通預金
・口座名義；名勝 小金井桜の会 ・口座番号；2387825

今後の予定：

*第17次樹勢調査 8月18日（土）

東京樹木医プロダクト以外の樹木医が参加して、5ブロック別に実施します。多くの参加を希望します。

*第4回 カブトムシ相撲大会&バードキー大会 (NPO活動) 7月14日（土）

小金井市文化財センターにて、午前10時より午後1時まで開催します。

<定例会合>

*例会；毎月第3土曜日 午前10時～12時
場所；小金井市文化財センター 学習室

*育苗ファーム活動；

毎月第1土曜日 午前10時～12時
場所；本町3丁目 小長久保公園

会員になりませんか

ソメイヨシノとは一味違う個性豊かな玉川上水兩岸のヤマザクラを守り、昔のように復活させようではありませんか。小金井橋のもとでお花見をする日を目指して、さああなたも「名勝小金井桜の会」へご入会ください。

問合せ先；事務局 岩間

電話 042-380-7662

メール hiwamaster@gmail.com

<編集後記>

会報第15号を会員及びさくら基金へのご寄付を通じて当会をサポートして下さっている皆さんにお届けします。今年は梅雨明けが早く、夏が続いています。如何お過ごしでしょうか？

6月の少雨のため、今年捕植15本の内、1本が枯死しました。近隣の住人の協力も得て、水遣りを行いました。追いつきませんでした。残念！

特に植樹一年目はケアが大切です。管理者の都教育庁に強く要請しました。 (岩)